

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づく情報提供

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 教育目標、教育指導計画、特色、経営方針

【教育目標】

学則第1条「本校は、教育基本法に則り、“幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う”ことを基本的な精神として、学校教育法・児童憲章及び児童福祉法の理念を踏まえ、幼児教育に情熱を燃やす人材を育成することを目的とする。」に基づき次のように定めています。

第一に、情操豊かな、自律性・協調性に富む人格形成を目指す。

第二に、深い理論と高度な技術・技能を教授し、幼児教育者・幼児保育者としての基本的資質を培う。

【育成人材像】 本校では、理想とする卒業生像とその要件を次のように考えています。

「自信と自立を兼ね備えた、子どもを笑顔にする技能を持った幼児教育者・保育者」

- 1 幼児教育者・保育者である前の社会人として必要不可欠な挨拶やマナーなど、基本的な生活習慣が確立していること。
- 2 様々な現場の子どもたちを喜ばすことができる豊富な保育技術を持っていること。
- 3 自らの経験や学びから主体的な行動ができ、心身の健やかさと現場に適応できる柔軟さを備えていること。
- 4 職場ごとに異なる規範やルール、教育目標に則りながら、自分らしさを発揮した柔軟な指導ができること。

【仙台幼児の学び】 ～ジブン・ジシンプログラム～

本校では、卒業後に幼児教育者・保育者となる自分自身を知り、現場で求められる高い技術や深い知識に確かな自信を持つことのできる独自の教育システム“ジブン・ジシンプログラム”を実施しています。

- 1 現場で役に立つものしか教えない、理論に基づく徹底した「保育技術教育」
 - *一人ひとりのレベルに合わせ、卒業まで必修の授業で成長していくマンツーマンのピアレッスン。
 - *製作から演じるまでを行う授業に加え、実習前には保育技術ワークショップでスキルアップする現場直結型授業。
- 2 学校生活自体が学生の学びである、主体性を育む「学校生活・行事」
 - *学校生活の中で、「なぜ?」「どうして?」を考え、理解するために自主的に行動できる環境づくり。
 - *学生の主体性を伸ばしながら自立を促すアクティブラーニング型行事。
- 3 全教職員で一人ひとりの可能性を引き出す、ひとりのための「人間教育」
 - *担任だけではなく、理事長、校長を含めた全ての教員が学生一人ひとりのために指導する全員担任マインド。
 - *知識と技術の修得はもちろん、幼児教育者・保育者として相応しい人格形成を目指す「良い習慣」指導。

【学校の経営方針】

本校は、校訓“光と愛”の精神に溢れ、幼児教育に情熱を燃やす人材を育成する、という理念・目的を果たすため、厚生労働省の認可を受けた保育士養成施設として、指定保育士養成施設指定基準及び関連法規に基づき学校運営を行うとともに、幼稚園教諭二種免許の取得に関しては、短期大学を連携校とする併修システムにより指導に当たっています。また、本校の理念や関連業界・社会の動向等を踏まえて年度毎の運営方針を定めています。

(2) 校長名、所在地、連絡先等

学校名 学校法人曾根学園 仙台幼児保育専門学校
校長名 伊藤 幸一
所在地 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3番39号
連絡先 TEL 022-717-4550 FAX 022-275-8038

(3) 学校の沿革・歴史

明治24年 4月 曾根まさ、仙台市木町通25番地において裁縫塾を開設
昭和21年 4月 曾根裁縫女学園、県より公認指定を受ける
昭和28年11月 宮城県知事より学校法人曾根学園の設立が認可される
昭和51年 3月 専修学校設置基準が定められ、校名を曾根家政専門学校と改称
平成6年 4月 校名を専門学校曾根きもの文化学院と改称(同校、平成18年8月閉校)
平成7年12月 宮城県知事より仙台幼児保育専門学校の設置が認可される
平成8年 4月 仙台幼児保育専門学校、開校
平成14年 4月 厚生労働省より保育士養成校としての指定を受ける
平成16年12月 三号館落成
平成17年 5月 創立十周年記念式典挙行
平成22年 4月 学校法人曾根学園 東二番丁幼稚園開園
平成22年 4月 保育士養成科開設
平成26年 4月 保育士養成科をこども保育科に改編
平成29年 4月 小規模保育事業みのり保育園開園

学校法人曾根学園の歴史は古く、仙台幼児保育専門学校は平成8年に開校して以来、保育士・幼稚園教諭の育成だけを行なう専門学校として歴史を刻んできました。その歴史の中で、本校の実績が認められ、公立幼稚園であった「東二番丁幼稚園」(明治12年創立)を仙台市より引き継ぎ、29年度より小規模保育園も開園し、幼児保育・教育に関わる事業のみを運営しています。

2. 各学科等の教育

(1) 入学定員等

課程名	学科名	昼夜別	修業年限	入学定員	総定員
教育・社会福祉 専門課程	幼児保育科	昼	3年	80名	240名
	こども保育科	昼	2年	80名	160名

(2) カリキュラム (10. その他【学則】の〔表Ⅰ〕〔表Ⅱ〕をご覧ください)

(3) 進級・卒業の要件等 (成績評価基準、卒業・修了の認定基準等)

〔評価基準〕 前期・後期試験、レポート、出席状況等を総合的に勘案してA、B、C、Dの成績評価を行い、C以上を合格とする。

〔卒業・進級基準〕 所定の修業年限在学し、所定の課程を修了している者。幼児保育科3年次、こども保育科2年次において豊岡短期大学または東京福祉大学短期大学部の卒業認定を受けない者は留年とする。

(4) 取得を目指す資格・検定等及び実績

(平成30年度の実績)

- | | |
|----------------------------------|------|
| ① 保育士資格 | 99% |
| ② 幼稚園教諭二種免許状 | 99% |
| ③ 社会福祉主事任用資格 | 100% |
| ④ 児童厚生二級指導員資格 (幼児保育科・児童福祉コース選択者) | 100% |

(5) 卒業者数、卒業後の進路（平成30年度卒業生）

① 就職実績（就職決定者／就職希望者）	100%（60名／60名中）
② 専門職率（資格を活かした就職先／就職決定者）	99%（59名／60名中）
③ 職種別内訳	
公務員（幼稚園教諭・保育士）	3名
認定こども園	4名
幼稚園	8名
保育所	39名
児童館・社会福祉施設	5名
その他	1名

3. 教職員

(1) 教職員数

校長	1名
副校長	1名
常勤教員	9名
事務職員	3名
非常勤講師	64名

(2) 教職員の組織・活動

「教職員研修規程」を設け、現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る業務の遂行に必要な知識または技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的に、保育・幼児教育分野における実務および指導力の修得・向上に関する研修等を計画、実施する。

4. キャリア教育・実践的職業教育

- (1) 卒業によって保育士資格・幼稚園教諭二種免許状が取得できます。教員間及び家庭との連携強化、個別相談体制の充実、経済面での支援等を通じて入学者全員の卒業、資格・免許取得を目指しています。
- (2) 実習は保育士養成校として関係法令等に定められた基準に従って、教育実習及び保育実習Ⅰ・保育実習Ⅱ等の学外実習を行い、関係施設などと連携を取りながら実習体制の整備を図っています。また、「実習ガイドブック」を編集し、実習計画、実習の要件、内容、心構え等について事前・事後の学習に活用しています。
- (3) 学生全員が卒業に必要な単位を取得できるよう、担当教員は勿論教員全体で丁寧な指導に努めています。大きなウェイトを占める校外の実習に関しては、事前・事後指導に力を入れており、科目担当者以外にも複数の教員による指導、実習経験者の体験談、実習先園長の講話等、指導の充実を図っています。
- (4) 専門的な知識・技術の修得だけでなく、社会人としての基礎力強化が重要であるとの観点から、LHRの活用に加え、ビジネスマナー講座や多様な講師による特別講義、卒業生による講話等を実施しています。
- (5) 実践的な職業教育機関として就職率の向上は重要な目標と位置付けています。本年度の就職率100%、取得資格・免許を生かした専門職への就職は99%となっています。
- (6) 担任による面談を軸に学生の希望、求人状況を的確に把握し、個々に応じ時宜に適った指導を行うとともに、卒業学年全員の就職を目指し、就職ガイダンス、キャリアアップ講座、卒業生による就職体験説明会、公務員模擬試験・模擬面接等を実施しています。

5. 様々な教育活動・教育環境

【学校行事】

4月	入学式・健康診断・遠足・学生会総会・新入生歓迎会
5月	
6月	教育実習（幼児保育科3年・こども保育科2年）
7月	体育祭
8月	
9月	前期試験・前期終業式・学生会総会 保育所実習Ⅰ（幼児保育科2年・こども保育科2年） 児童館実習（幼児保育科3年選択）
10月	後期始業式・保育所実習Ⅱ（幼児保育科3年こども保育科2年） 観察実習（1年）・施設実習（幼児保育科2年）・芋煮会
11月	施設実習（こども保育科2年）
12月	学生会行事
1月	
2月	卒業コンサート・後期試験
3月	後期終業式・卒業式

6. 学生支援への取組状況

- (1) クラス担任制により、学校生活全般に関する丁寧なサポート体制をとっています。
- (2) 就職実務の指導、就職模擬面接の実施、外部講師を招聘しての就職研修の開催等、進路・就職に関する支援体制を整えています。
- (3) スクールカウンセラー（臨床心理士）を配置し、学生の心理面のケアを図る体制を整えています。
- (4) 保護者会の開催や三者面談等を通じて保護者との十分な連携を図り、学生の支援を行っています。

7. 学生納付金・就学支援

- (1) 入学金・授業料・諸経費等

【幼児保育科】

科目	1年	2年	3年
入学金	100,000		
年間授業料	550,000	550,000	520,000
年間施設維持費	180,000	180,000	180,000
東京福祉大学短期大学部こども学科学費	276,000	240,300	176,300
合計	1,106,000	970,300	876,300

※ 教育実習費及び保育所・施設実習費、教材費等は別途徴収する。

※ 東京福祉大学短期大学部通信教育課程はスクーリング費用等諸経費をすべて含みます。
但し、スクーリング費用に関しては、年度によって多少の変動があります。

【こども保育科】

科 目	1 年	2 年
入学金	100,000	
年間授業料	580,000	580,000
年間施設維持費	180,000	180,000
東京福祉大学短期大学部 こども学科学費	346,000	200,300
合計	1,206,000	960,300

※ 教育実習費及び保育所・施設実習費、教材費等は別途徴収する。

※ 東京福祉大学短期大学部通信教育課程はスクーリング費用等諸経費をすべて含みます。
但し、スクーリング費用に関しては、年度によって多少の変動があります。

(2) 修学支援の制度

① 特別奨学生制度

曾根学園の特待生として奨学金の支給を受けるための制度です。AO入試・推薦入試の合格者で特待生を希望する方を対象として筆記試験を実施の上、成績のランクに応じて奨学金を支給します。進級する在校生に関しては、前年度の成績上位者に対して前期授業料相当額を支給します。

② 学費分納制度

前期・後期ともに原則1回での納入ですが、分納での納入も可能です。

③ 奨学寮制度

提携会社とのパートナーシップによる奨学寮制度は、遠隔地から入学を希望する方を応援する制度です。入寮費・年間管理費・食事込みの月々の寮費などの料金を抑え、学校生活の充実を図ることができます。

④ 学校提携信販会社の教育ローン

学校独自の提携で他の信販会社より金利を低く抑えることができます。

(3) 教育訓練給付制度

本校のこども保育科（2年課程）は、専門実践教育訓練給付金の支給の対象となる厚生労働大臣指定講座を運営する教育訓練施設です（幼児保育科3年課程は該当しません）。この制度は、教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。入学までに雇用保険の一般被保険者であった期間が2年以上の方が対象となります。制度利用を希望する方には入学前に情報の提供と資格確認を行っています。

8. 学校の財務

9. 学校評価

(1) 平成30年度 自己評価の結果

(2) 平成30年度 学校関係者評価の結果

下記のアドレスにて情報公開しています。

<http://www.sendai-yoji.ac.jp/>

10. その他（学則）